

ウイルス分離及び抗原検出情報 2016年

ウイルス分離(仙台市内医療機関)

	第34週(最終)	第35週(中間)	第36週(中間)	第37週(中間)
	8月22日～	8月29日～	9月5日～	9月12日～
インフルエンザウイルスA(H1) pdm09	0	0	0	0
A(H3)型	0	0	0	0
B型(山形系統)	0	0	0	0
B型(ヒクトリア系統)	0	0	0	0
C型	0	0	0	0
解析中	0	0	0	0
RSウイルス	3	1	4(3)	7
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0
ムンプスウイルス	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	0	0
エンテロウイルス	1	3	1	3(2)
ライノウイルス	0	0	0	0
単純ヘルペスウイルス	0	0	0	0
サイトメガロウイルス	1	1	1	0
パラインフルエンザウイルス				
1型	0	1	3	0
2型	0	0	0	0
3型	0	1	0	0
4型	0	1	1	0
解析中	0	0	0	8
未同定	0	0	0	0
分離総数/検体総数	6/36	8/44	10/29	18/47

※院内から提出される検体につきまして、同一患者から複数の検体が提出される場合がありますので、分離数と実質患者数が異なる場合、「分離数(実質患者数)」の順に記載しています。
 なお、これらの成績は主に以下の医療機関から定期的に送られてくる検体を解析したものです。
 *永井小児科医院、庄司内科小児科医院、仙台医療センター

抗原検出状況(仙台医療センター)

	第34週	第35週	第36週	第37週
	8月22日～	8月29日～	9月5日～	9月12日～
インフルエンザウイルス	0/3	0/3	0/5	0/4
A型	-	-	-	-
B型	-	-	-	-
RSウイルス	3/7	0/4	4/8	2/15
ノロウイルス	0/4	0/4	2/5	1/11
ロタウイルス	0/3	0/4	0/5	0/11
アデノ(便中)	0/3	0/4	0/5	0/11
アデノ(呼吸器)	1/13	0/19	0/8	0/18
アデノ(眼科)	0/0	0/0	0/0	0/0
※溶連菌	1/13	1/13	0/4	0/13
水痘帯状疱疹	0/0	0/0	0/1	0/1
単純ヘルペス	0/1	0/1	0/1	0/1

今週のコメント:
 ①第32週より「RSウイルス」が継続して分離されており、分離数も増加傾向です。
 ②第35～37週にかけて、「パラインフルエンザウイルス」の分離が再び増加しています。

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
 臨床研究部ウイルスセンター 2016年9月20日